

2016年10月
(No.19)

あこう社協だより



届けよう
やさしさの気持ち

新シリーズー地域を知るー	
第1回今“地域”なワケ	2P
赤い羽根共同募金運動	4P
まち発見! あこう福祉ニュース	5P
し・あ・わ・せフェスティバル	
「婚活作戦」in 赤穂!	6P
～学生の視点から見た社協～	7P
社協ヘルパーの「ワンポイント介護」No.7	
ちょっといい話	8P

10月1日(土)より、全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。1日の早朝には、播州赤穂駅と坂越駅において街頭募金活動が行われました。

一人ひとりの「助けあい」「思いやり」「しあわせ」の気持ちが赤い羽根になり、赤穂のまちに「やさしさ」の気持ちを届けています。

新シリーズ

地域を知る

今後さらに進展する少子高齢化、単身世帯の増加と社会的孤立などの課題に対応していくためには、専門職だけでなく、「住民主体の生活支援サービス」を拡充し、支えあいの体制を、それぞれの地域に作っていく必要があります。

このシリーズでは毎回テーマを決め、赤穂市の現状をはじめとする、住民生活に関わる福祉情報を連載していきます。

第1回

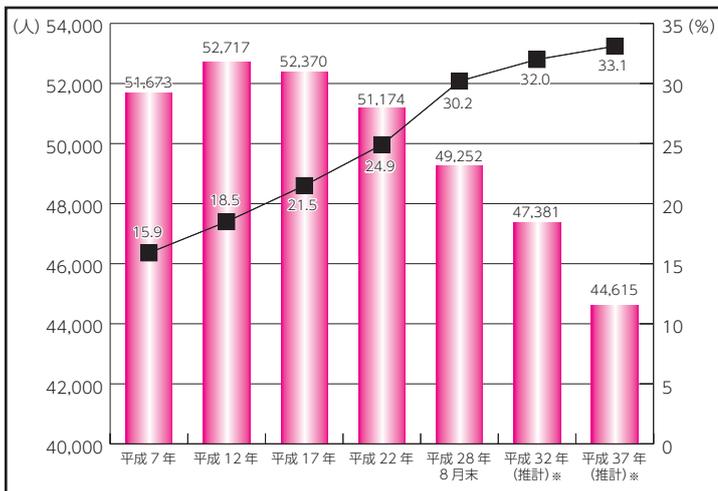
～今“地域”なワケ～

あなたの住む「地域」の良さは何ですか？ 自慢はどこなところですか？ 自然環境の良さ、お祭りや歴史・文化、交通や買い物の利便さ、住んでいる人のあたたかさなど、さまざまなものがあると思います。

反対に、「地域の課題」と感じている部分もあるのではないのでしょうか？ また、自分の地域のことを、あまり考えたことがない人もいると思います。

現代では、暮らしの個人化が進行し、住民同士のつながりが希薄になってきています。

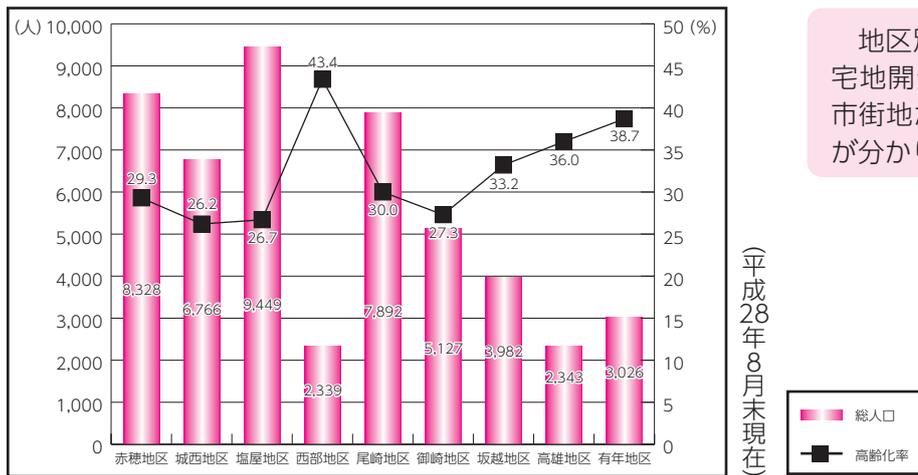
赤穂市の人口と高齢化率の推移



※印は「第6期赤穂市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」より

左の図のように、赤穂市の人口は年々減少し、高齢化率は上昇していくとされています。それに伴い、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯も増加し、個人化の進んだ現代では、生活のしづらさを抱えた世帯が孤立してしまう恐れがあります。





地区別に高齢化率をみると、現在宅地開発が進んでいる地区は低く、市街地から離れた地区ほど高い傾向が分かります。



(平成28年8月末現在)

次号では『社会参加の意義』について取り上げます。

その状況は、単に介護サービスなどを投入するだけでは解決しません。住民同士の「お互いさま」の助け合いにより、社会から孤立してしまいう前に、気軽に助けあえる関係を地域に作っていくことが大切になってきます。

こうした地域づくりは、赤穂だけでなく全国各地で取り組まれていますが、決して簡単にできることではありません。長い時間がかかります。粘り強く、皆さん自身の手で作っていくものです。

今一度地域を見渡し、地域の良さ・課題について考えるところから始めてみましょう。

家族や社会の変化で多くなってきたのが、ひきこもりや孤立死、虐待や自殺などの深刻な生活課題です。さまざまな福祉サービスや相談窓口がありながらも、そうした支援やサービスにつながることなく、SOSを発信することすらできないという状況も見られません。

社協では、地域の現状を把握するための「福祉マップづくり」などを通して、安心して生活できる地域づくりのためのお手伝いをしています。

日時は問いません。ご希望の日時、場所、人数をお知らせください。

○お問い合わせは、社協（42-1397）まで



～サロン紹介～ 汐見なぎさサロン

9月12日(月)、潮見集会所には、この日を楽しみに待ちわびた15名が集まりました。中には、マイカー(シルバーカー)利用の参加者も。

この日のサロンは、リオパラリンピック開催に合わせ、「汐リンピック」を開催。玉入れや風船を使ったゲームを行い、いざ勝負になると、お互い負けたくない気持ちから力が入り、白熱した展開になりました。

その後には、黒板に描かれた「中秋の名月」を背に、お月見団子を食べて談笑しました。

サロンに参加していた、唯一の男性である大河武司さんは、「男一人でさみしいけれど、来たら楽しいので、毎回参加しています。」と話してくれました。「サロンでは、“笑う機会”を大切にしています。」と代表の濱田さん。毎回サロンに参加することを楽しみにしてくれている参加者のため、「現状維持は退歩(後退)なり」を胸に、スタッフと協力して新しい内容を取り入れながら、毎回“笑い”のあるサロンづくりをされています。



汐見なぎさサロン

- 開催日：毎月第3月曜日 午後1時30分～3時
- 場 所：潮見集会所

赤い羽根共同募金
10月1日～31日



助け合い 広がる
つながる 赤い羽根



今年も、皆さまのあたたかのご支援、ご協力をよろしく願っています。

- | | |
|-------------------------------------------------------|---------|
| ①老人・障がい者在宅福祉サービス | 316.3万円 |
| 友愛訪問、移送サービス、給食サービス、敬老事業など | |
| ②小地域福祉活動 | 235万円 |
| 福祉研修会の開催による福祉コミュニティ作りの推進、ふれあい・いきいきサロン活動、パートナーサービス事業など | |
| ③調査・広報活動 | 190万円 |
| 社協だよりの発行、ホームページの活用による情報の発信 | |
| ④児童福祉活動 | 115万円 |
| ・福祉協力校育成など | |
| ⑤福祉教育活動 | 60万円 |
| 市民福祉講座の開催・福祉作文の募集 | |
| ⑥心配ごと相談所 | 40万円 |
| ⑦ボランティア活動 | 40万円 |
| ・ボランティア育成、助成 | |
| ⑧災害ボランティアセンター育成支援 | 40万円 |
| ⑨心身障がい者福祉活動 | 20万円 |
| ・「障がい者週間とともに考える市民のつどい」の開催など | |
| ⑩民間社会福祉施設補助(県内) | 93.7万円 |
| 目標(総額) | 1,150万円 |

赤い羽根共同募金運動は、皆さまのおかげをもって、今年で70年目を迎えました。
寄せられた募金の多くは、赤穂市内のさまざまな地域福祉活動に役立てられています。
今年集められた募金は、来年度左記のとおり活用されます。



福祉のこころの伝道師養成



8月30日、9月7日の2日間、「キャップハンディボランティア養成講座」を開催し、延べ12名が参加しました。参加者は、これから市内の学校や企業などで行われる福祉体験学習において、「福祉のこころ」を育てる学習のサポートを行っていきます。



できる人が できるときに できることをお手伝い

9月9日、16日、23日、30日の4日間、日常の“ちょっとした困りごと”を、身近な地域で助けあう活動を進めるための「生活支援サポーター養成講座」を開催し、37名が受講しました。講座では、助けあいの大切さや高齢者に関わる際の注意点、傾聴のポイントなどを学びました。講座修了後は、「地域の困りごと応援隊(仮称)」として、助けあいの輪を広げる活動を目指していきます。

おじゃまします!相生市のいきいきサロン

9月～10月にかけて、赤穂市でいきいきサロンを実践しているメンバーが、相生市のいきいきサロンに参加し、交流を行いました。地域性や運営方法は違って、仲間と楽しく過ごせる“地域の居場所づくり”への熱い思いは同じです。「こんな時はどうしてる？」など、それぞれの参加者が、サロン運営のアイデアを持ち帰りました。



まち発見!



あこう福祉ニュース



相手の立場になって考える

9月29日、御崎地区福祉推進連絡会が福祉研修を実施しました。視覚を失ってから障がいを受け入れるまでの当事者の思いを聞いた後、いつも使い慣れている公民館の廊下や階段などで、アイマスクと車いす体験を行いました。介助方法だけでなく、介助してもらう側も体験することで、どうすれば相手に安心・安全な手助けができるのか、考える機会となりました。



第34回 し・あ・わ・せフェスティバル ～フクシふれあいまつり～ 「ささえ愛 ささえ合う...人だから」

- 日 時 11月20日(日) 午前10時～午後3時
- 場 所 総合福祉会館全域 ※雨天決行

(外のイベント)

- ◆各ボランティア団体によるバザー・模擬店
- ◆ステージでの催し
- ◆毎年恒例の「卵のつかみどり」「福引抽選」ほか

(会館内のイベント)

- ◆福祉体験スタンプラリー(景品あり!)
- ◆映画ドラえもん「新・のび太の日本誕生」上映
- ◆アキュラシー大会 ほか

年に一度のボランティア祭りを、一緒に盛り上げましょう!

あなたの縁が この地で うごき始める 「婚活作戦」in 赤穂



結婚を希望する未婚男女の素敵な出会いを応援するため、社協が本気であなたの婚活を応援します。ぜひご参加ください。

出合いの広場事業

- 日 時 11月27日(日) 午前10時～午後4時
- 場 所 桃井ミュージアム(赤穂市御崎634番地)
- 対 象 男性：30歳以上の西播磨に在住する未婚の方
女性：28歳以上の未婚の方
※赤穂市在住・在勤者を優先します。(学生は除く)
- 定 員 男女各18名
- 参加費 男女とも2,000円
- 申込締切 11月10日(木)
- 主催・申込先 社会福祉協議会 ☎42-1397

ひとり親家庭などを対象に、 ランドセル購入費用の一部を助成します!!

- 1. 対 象** 市内在住で平成29年4月に市内小学校へ入学する子どものいる、児童扶養手当を受給しているひとり親家庭、または両親ともいない家庭で、助成を希望される方。
- 2. 申込期間** 平成28年11月1日(火)～平成29年2月28日(火)
- 3. 助成金額** 1人当たり 上限20,000円
- 4. 必要書類**
 - ・ひとり親家庭ランドセル購入助成申請書
 - ・児童扶養手当証明書(写)
 - ・健康保険証など子どもの生年月日が分かる書類(写)
 - ・ランドセルを購入した時の領収書(写)
※保護者または子どもの名前が記入されたもの
- 5. 申込方法** 上記必要書類を社会福祉協議会へ提出してください。
※助成申請書は、社協窓口かホームページからダウンロードできます。



移送サービス ボランティア実習講座

移動に困っている方(車いす利用者)の通院を支援する活動です。
活動は、運転担当と介助担当の2人一組で行うので、仲間もでき、空いている時間を有効活用できますよ!

- 日 時：11月8日(火)
午前10時～正午
- 場 所：赤穂市総合福祉会館 2階研修室
- 対 象：市民 10名
- 受 講 料：無料
- 講 師：移送サービスボランティア「てんとうむし」
会長 戸谷 喜伴 氏
- 申込締切：11月1日(火)
- 問合せ・申込先
赤穂市ボランティアセンター ☎42-1397

～学生の視点から見た社協～

社会福祉士を目指す学生2名が、8月17日～9月21日の間、赤穂市社協で社会福祉実習を行いました。お世話になった皆さん、ありがとうございました。

4回生 関西福祉大学 社会福祉学部
阿部 真悟さん



赤穂市社協の実施する事業に参加し、たくさんの地域住民の人に出会い、関わることで、その人たちの支えによって、事業がなりたっていることを強く感じました。また、地域で生活する人の気持ちに寄り添い、支えあえる信頼関係を築いていくことが大切だと学びました。

4回生 関西福祉大学 社会福祉学部
松岡 睦子さん



多くの事業に参加し、住民が「自分のまちを良くしたい!」という思いから、社協が作られたのだと思いました。地域の課題を発見しながら、住民同士のつながりや居場所づくりなどの役割も担っていることを知りました。これからの福祉について、私も考えていきたいと思います。

衣裳室だより

七五三用七歳女兒着物一式・三歳女兒被布・五歳、三歳男児着物一式・子どもドレス・スーツなどございます。どうぞご利用下さい。



◆貸衣裳受付時間

- ・月～金曜日(祝祭日を除く)
午前9時～午後5時
- ・第1、第3土曜日(祝祭日を除く)
午前9時～正午

◆場所

福祉会館 2階貸衣裳室

※料金の詳細については、ホームページまたはお電話(42-1397)でお問い合わせください。

心配ごと相談所のご案内 (10月12日～11月9日まで)

【一般相談】 10月12日(水) 10月26日(水)
11月2日(水) 11月9日(水)

【弁護士相談】(要予約) 10月19日(水)

【カウンセラーによるこころの相談】(要予約)
10月26日(水) 11月2日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです。
※相談は無料。

あなたのやさしさを善意の窓口へ——

善意銀行だより

あなたかい善意をありがとうございました
預託状況(9月1日～9月30日受付分)



●委任預託

(敬称略)

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
	O T	3,000	福祉のために使ってください。
加 里 屋	匿 名	10,000	長寿のお祝いのお礼
上 郡 町	三上 芳範	11,000	福祉のために
	匿 名	10,000	福祉のために
	匿 名	5,000	車椅子借用御礼
坂 越	樽井 朝子	3,000	車椅子借用御礼
坂 越	田川 芳弘	50,000	亡母(ぬい子)車椅子借用御礼
大 津	赤松 里江	100,000	亡夫(光弘)満中陰志
上 飯 屋 南	奥野 早苗	50,000	亡兄(昌彦)満中陰志
加 里 屋 字 磯	ダイネン株式会社	10,000	展示会売上げの一部を
有 年 横 尾	横山 博好	3,000	車椅子借用御礼
さ つ き 町	宮崎 輝豊	8,735	善意に

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

賛助会費ありがとうございました(敬称略)

【法人】(株)総本家かん川

福祉の拠点をみんなで支えてください。

(法人会費:5,000円、個人会費:2,000円、一般会費:500円)

賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかいご援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

社協ヘルパーの ワンポイント介護 No.7

＊今回のテーマ＊

“手浴・足浴”

～お家での介護、
困っていませんか？～

吹く風が涼しさから少しずつ寒さへと変わり、秋の深まりを感じるようになりましたね。手足が冷えて目が覚めてしまった朝や、なかなか寝付けない夜には手浴・足浴で身体を温めてはいかかでしょうか。入浴より手軽に身体を温めることができ、『血行促進』、『リラクゼーション』、『眠りを促す』、『痛みを和らげる』などの効果が期待できます。

用意するもの

- 手や足を浸ける洗面器やバケツ
※深く湯に浸けたい時は深めの容器を用意して下さい
- タオル…………… 2～3本
- (6月号でご紹介した)シャワーボトル…………… 1～2本
- ピニールシート(大きいゴミ袋やピニール風呂敷)
…………… 1枚
- 必要に応じて…………… 石鹸、入浴剤

部分浴の「シ」

- 体温よりやや高め(38±2℃)を目安に湯を用意しましょう。
※冬場や冷房の効いた部屋では湯が冷めやすいです。手もとにし熱めの湯を『差し湯』として用意しましょう。
- 安楽な無理のない姿勢で行いましょう。
- 湯に浸かる時間は10分程度を目安に。
- 石けんで汚れを落としながらマッサージをしてみましょう。
- シャワーボトルを使って掛け湯をして汚れを洗い流しましょう。
- タオルで手足の水分を拭き取りましょう。(指の間も忘れずに)
- 終了後は水分補給をしましょう。(体温があがるので、脱水に注意)

体がほかほかして
ええ気持ちや～



ベッドの端に腰掛け

ベッド上で寝たまま



手浴



足浴

※応募用紙は社協窓口か社協ホームページからダウンロードできます。

※送付先は、下記をご覧ください。

※応募方法は社協窓口か社協ホームページからダウンロードできます。

「ちょっといい話」募集

◎この暑い日にも、毎週のように地区の児童公園の除草・整地をしてくださる方がいる。地区でも隔月には児童公園等の清掃日を設けていて、各戸1、2名が出て、一斉に除草・整枝・整地等に汗を流す。Tさんは、「清掃日に出ることができないこともあるから…」と言われるが、我々も同様であり、複雑な心境になる。「お疲れ様です。暑いときですから、無理をしないでね。」と労うことしかできない自分に、後ろめたさを感じざるを得ない。

(仁志)

ち
よ
っ
と
い
い
話

■ 編集後記 ■

暑さも落ち着き、過ごしやすい季節となりました。「読書の秋」、「食欲の秋」、「スポーツの秋」など、秋は様々な表現をされることがありますが、みなさんはどのようにお過ごしでしょうか？

さて、社協には夏休み期間中に募集をした福祉作文が届きました。みなさんの作品を読ませていただき、普段の生活や体験における様々な福祉に関する思いを、ひしひしと感じ取ることができました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

(辻)



ご意見・問い合わせは

ホームページもぜひご覧ください！

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会 〒678-0232 赤穂市中広267番地
電話 0791-42-1397 / FAX 0791-45-2444
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp

赤穂市社協

検索